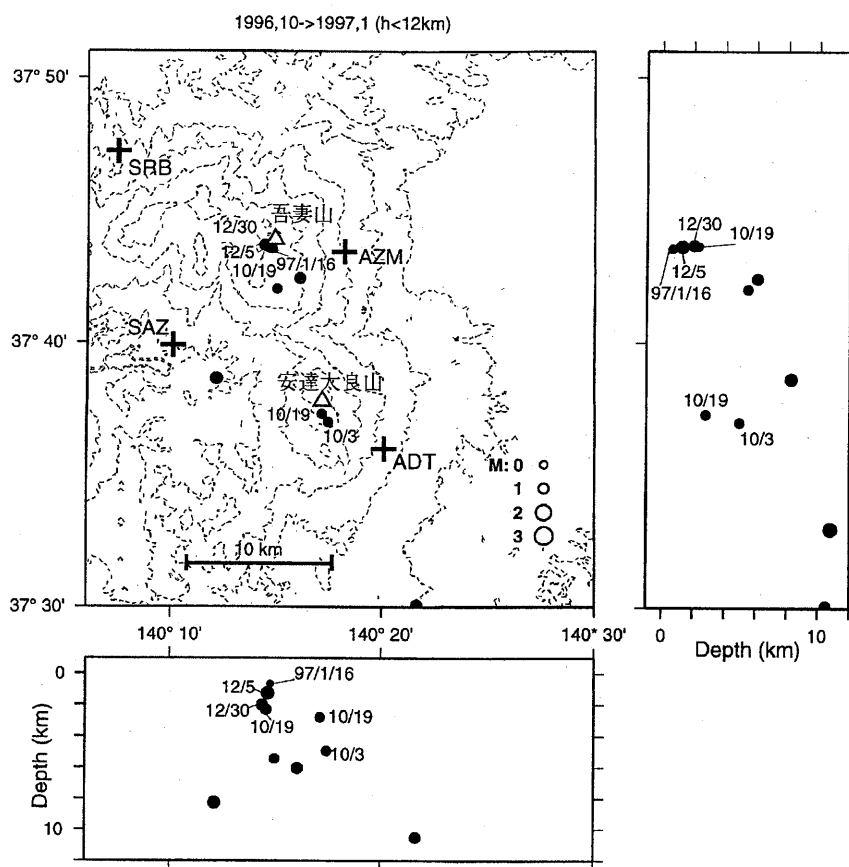


吾妻火山・安達太良火山周辺の地震活動（1996年10月～1997年1月）*

Earthquake Activity in Azuma and Adatarara Volcanoes in the Period
from October, 1996 to January, 1997

東北大学理学部地震予知・噴火予知観測センター
Observation Center for Prediction of Earthquakes and
Volcanic Eruptions, Faculty of Science, Tohoku University

安達太良火山では1995年10月以降、吾妻火山では1996年4月以降、火山性微動が繰り返し発生したが^{1) 2)}、1996年10月～1997年1月では、どちらの火山においても火山性微動は観測されなかった。一方、これら二つの火山の山頂直下で地震が発生した。第1図に1996年10月～1997年1月に吾妻山と安達太良山付近で発生した地震の震源分布を示す。



第1図 1996年10月～1997年1月の吾妻山および安達太良山周辺域の地震観測点（十字印）と震源分布（黒丸）。
Fig. 1 Hypocenter distribution in and around Azuma and Adatarara volcanoes in the period from
October, 1996 to January, 1997.

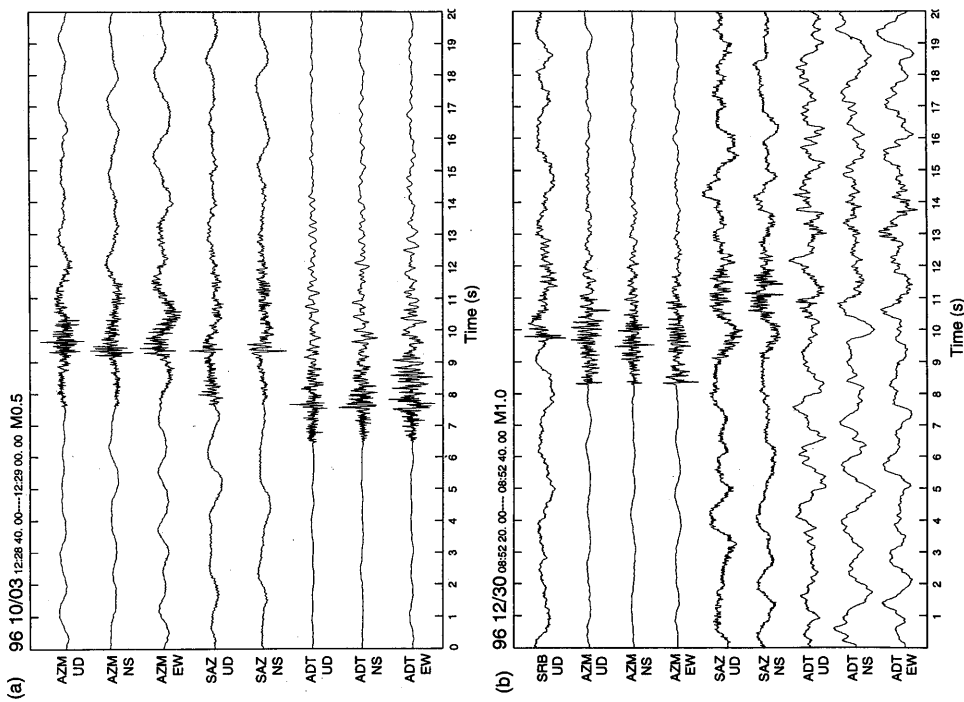
* Received 6 Mar., 1997

1996年10月3日と19日に安達太良山の山頂直下、深さ2～5 kmに2個の微小地震の震源が求められた(第1図)。第2図(a)に1996年10月3日の地震(M0.5)の波形例を示す。第3図(a)に1993年1月～1997年1月の安達太良観測点(ADT)における地震数の月別頻度分布を示す。1996年4月～7月の期間¹⁾に比べれば地震数は少ないものの、11月～12月にかけて地震数が若干増加した。

1996年10月19日、12月5日、12月30日、1997年1月19日に吾妻山の山頂直下、深さ1～3 kmに4個の微小地震の震源が求められた(第1図)。第2図(b)に1996年12月30日の地震(M1.0)の波形例を示す。吾妻山直下の地震の震源決定において、東北大学がルーチン処理で用いている構造(上部地殻構造、P波速度5.4 km/s、S波速度3.15 km/s)では震源が収束しなかった。そこでこれらの地震については、P波速度5.0 km/s、S波速度2.94 km/sという構造を用いた。第3図(b)に1992年1月～1997年1月の吾妻観測点(AZM)(ただし、1994年2月以前は微温湯観測点(NRY))における地震数の月別頻度分布を示す。火山性微動が比較的多く発生した1996年4月～6月²⁾には地震数が増加していたが、10月以降の地震数は定常的な水準に戻っている。

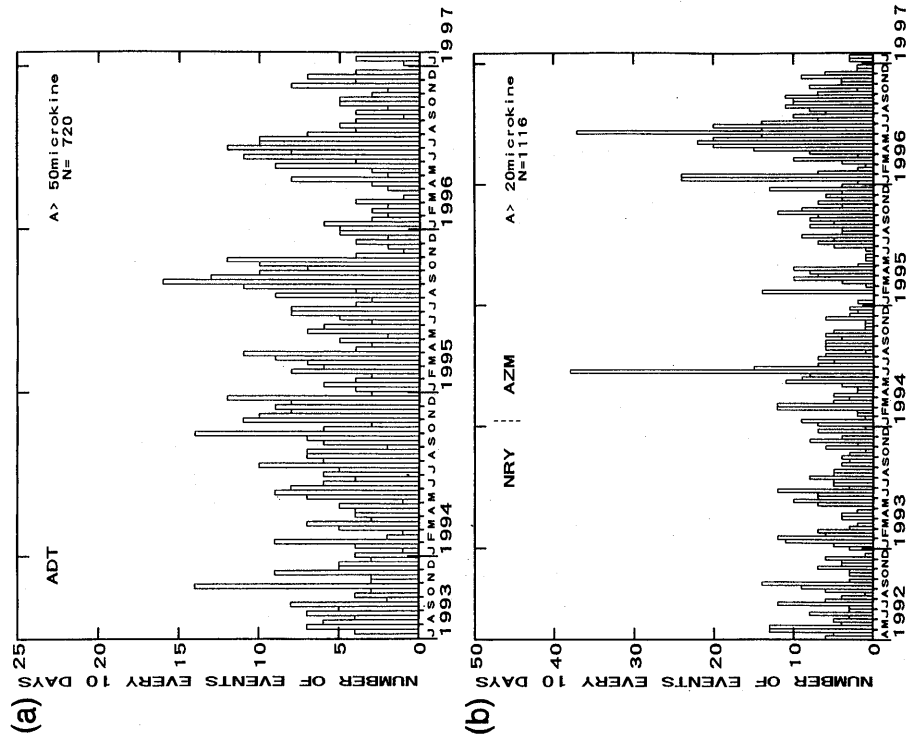
参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部(1996)：安達太良火山の火山活動(1996年5月～1996年9月)，噴火予知連絡会報，66，43-46.
- 2) 同上(1996)：吾妻火山地域の火山性微動・火山性地震の活動(1996年5月～9月)，同上，66，37-42.



第 2 図 (a)1996年10月3日12時28分に安達太良山の山頂直下で発生した地震の波形記録例。
(b)1996年12月30日に吾妻山の山頂直下で発生した地震の波形記録。

Fig. 2 Three-component seismograms for earthquakes observed in (a) Adataro volcano at 12:28 on 3 October, 1996, and (b) in Azuma volcano at 8:52 on 30 December, 1996.



第 3 図 (a)安達太良観測点 (ADT) で観測された安達太良山付近における地震数の10日毎の変化。(b)微温湯観測点 (NRY) または吾妻観測点 (AZM) で観測された吾妻山付近における地震数の10日毎の変化。

Fig. 3 The number of earthquakes observed every 10 days at (a) ADT, (b)NRY or AZM stations.